

森の文化のおおた

あなたの企画提案が 実現します!

平成 24 年度公募 26 企画の採用、決まる



ZUMBA

今春4月から始まる新年度の公募企画がこのほど決まりました。採用されたのは26企画。大田文化の森運営協議会では毎年1回、地域の活性化や区民の文化活動の支援、区民文化の創造と発信の実現に向けて公募企画を呼びかけてきましたが、今年も多数の方々によって「文化の森から自分でやりたい」企画が持ち込まれ、採用にあたっては公募事業部7人の委員を中心に書類審査、面接を行い文化会議(運営協議会の最高決議機関、13人で構成)に諮って最終選考となりました。

審査にあたっては営利、宗教、政治活動などを目的としていないか、また区内在住、在勤、在学の人であるかどうかなどの基準もあり、基本的には初回応募の方、新たな活動を立ち上げようとしている方を優先して私どもが企画から実施までをサポートさせていただくことになっています。さて、このラインアップをご覧になって読者のみなさん、ぜひ参加してみたい!と思われる企画はありますか。

なお開催日、参加費、具体的な内容等は追って本誌イベント情報欄(4、5頁)で紹介しますが、都合により変更になるケースも



チョークアート

巻頭特集

あなたの企画提案が 実現します!

平成24年度の26公募企画の採用が決まりました。

読み応えのあるコラムが自慢

初夢!? 大田区物語を 綴っていただきました

お正月、みなさんはどんな初夢をみられますか。大田区を舞台にしたストーリーを描くのも楽しいのではないのでしょうか。今回は大田区在住の西川文恵さんと高橋洋子さんに思いを綴っていただきました。

人気のNHK連続テレビ小説、 今春は蒲田が舞台に!

わが町・蒲田が、今春4月2日スタートの朝のNHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」で舞台になりました。物語の構想の中で蒲田に白羽の矢が立ち、ヒロインに女医を選んだ訳をNHK岩谷可奈子チーフ・プロデューサー(CP)に伺ってみました。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

なでしこジャパン丸山桂里奈、 母娘の絆

「母と喜びを分かち合えて、今でもとても感激しています」。サッカーの女子ワールドカップで世界一になった、なでしこジャパンのFW丸山桂里奈さんは言う。大田区大森西の実家で母・慶子さんと寛ぐお二人に、母娘の思いを聞かせていただいた。

今年の干支 「辰」と「龍」に思う

文化プレーヤーによる今年の干支のコラムです。

ありますのでご了承ください。

1. ホール企画

1. ピアノで楽しみましょう！

2. 多目的室企画

1. RIMIライブ「手話パフォーマンス ～つなごう、心一つに～」
2. 台湾少数民族、泰雅(タイヤル)族楽器舞踏交流会～華麗なるタイヤル族民族舞踏～
3. 昭和の智慧を学ぶ～ほんとうの「豊かな暮らし」とは～
4. 介護防止ストッキング体操で筋力アップ

3. 集会室企画

1. エコで作ろう！ 麻ひもバックと布わらじ
2. コミュニケーション力アップ ～相手の心をつかむ話し方・聞き方～
3. 初めてのスクラップブック～世界で一つだけのオリジナルアルバムで思い出に残したい！
4. めざせ！ けんだまチャンピオン！
5. わかりやすく役に立つ色彩学
6. 子育て期を愉しむシンプルな方法
7. 心と体を元気に！～チベット体操から始めるヨガ～
8. 楽しいWA！かわいい和菓子づくり
9. いけばな、はじめて物語
10. myうつわでおいしいごはん
11. 現役助成プロA級による“社交ダンス”～美しいホールで踊りましょう～
12. テレビ(メディア)の見方がオモシロクなる方法
13. ママも子供も笑顔になれるコーチング
14. ZUMBA TOMIC(子ども向けズンバ)
15. 「朗読」と講演～大人の恋を語る～
16. エコキャンドルづくり

4. 展示コーナー

1. はすの実作業所絵画展
2. 日本と中国 ふるさとスケッチ旅

5. 複合企画

1. みんなで創る「シャンソンコンサート」に参加しませんか～初めての方でも楽しく歌えるシャンソン～
2. ゆかたを着て盆踊りに参加しよう ～2012年文化の森夏祭りに向けて～
3. はじめてのチョークアート

※企画名が変更になる場合がございます。ご了承ください。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレイヤー」の活動の案内です。今回は「森のこだま」です。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.42Web版

2012年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

森文化のおおた

初夢!?

大田区物語を綴っていただきました

お正月、みなさんはどんな初夢をみられますか。大田区を舞台にしたストーリーを描くのも楽しいのではないのでしょうか。今回は大田区在住の西川文恵さんと高橋洋子さんに思いを綴っていただきました。

カヌーとこどもの世界を描きたい！

映画監督 西川 文恵（大田区中央在住）

「こんな大田区物語を描いてみたら楽しい…という思いを綴る」というお題をいただきました。映画や映像に携わる私の職業柄、いつも、地元の大田区をこういうふうに映したい！という夢を頭の中に描いています。

翌年のことで気が早いと思われるかもしれませんが、2013年に開催される「スポーツ祭東京2013」において大田区はカヌースプリント会場に選ばれたのだと新聞で見ました。2012



年の一年をかけて、どのように盛り上がっていくのでしょうか。私は、地元の大森西を流れる内川で小学生の頃に体験したカヌーの思い出が忘れられなく、「大田区のカヌー」と「こども」をテーマとした映画が作りたと思います。

去年は、震災や津波に私は非常に大きなショックを受けました。大田区は隣に東京湾を抱き、私たちの身近なその海は、東北の海へと繋がっています。日本は大きな島であり、諸島です。原発の事故で流れた汚染水の行方が心配な今日ですが、日本が海に浮かぶ諸島のひとつであり、黒潮や親潮などの海流にのって海は世界中と繋がっているのだ…ということをお忘れな今、もう一度映像を通して、その価値観を提示してみたいな…と思います。

こんな緑の

作家・女優 高橋 洋子（大田区雪谷在住）

広い草原に座っている。なだらかな丘の上に私は一人で座っている。向こうに見えるのは、キャベツ畑かしら。葉ボタンのようなまるっこいものが、太陽に口をあげて並んでいる。“ここがお前さんの生まれた土地だよ”耳元で風がささやいた。

え！ここが大田区？周囲に目を凝らすと、五重の塔らしきものが、彼方の丘にポツンとある。

巻頭特集

あなたの企画提案が実現します！

平成24年度の26公募企画の採用が決まりました。

読み応えのあるコラムが自慢

初夢!?

大田区物語を綴っていただきました

お正月、みなさんはどんな初夢をみられますか。大田区を舞台にしたストーリーを描くのも楽しいのではないのでしょうか。今回は大田区在住の西川文恵さんと高橋洋子さんに思いを綴っていただきました。

人気のNHK連続テレビ小説、今春は蒲田が舞台に！

わが町・蒲田が、今春4月2日スタートの朝のNHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」で舞台になりました。物語の構想の中で蒲田に白羽の矢が立ち、ヒロインに女医を選んだ訳をNHK岩谷可奈子チーフ・プロデューサー（CP）に伺ってみました。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

なでしこジャパン丸山桂里奈、母娘の絆

「母と喜びを分かち合えて、今でもとても感激しています」。サッカーの女子ワールドカップで世界一になった、なでしこジャパンのFW丸山桂里奈さんは言う。大田区大森西の実家で母・慶子さんと寛ぐお二人に、母娘の思いを聞かせていただいた。

今年の干支 『辰』と『龍』に思う

文化プレーヤーによる今年の干支のコラムです。

あそこが池上本門寺？ だがその辺りも
総て草原だ。草といろんな野菜とが、この
大地を埋めつくしている。
なるほど。こんな緑豊かな土地だから、か
つて川端康成や宇野千代たち文人が移り
住んだんだな・・・。一人勝手にそうか！
と手を打ったが、やっぱり何だか納得い
かない。



ちょっと歩いてみようかな。
ゆるやかに続く坂道は気持ちがいい。ふ
かふかとして靴底には芝の感触。どこま
でも歩いていけそうである。とすると、この
まま下っていったら、海に辿り着けるは
ず。羽田はどうなっているのかしら。
どんどん海を目指す。すると海の方から
一機の銀色の物体が頭上を飛び去って
いった。振り返ると“あらっ”。そこには隙間
無くびっしりと住宅が続いていた。
緑は家が変わった。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレー
ー」の活動の案内です。今回は「森のこだま」です。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待
ちしています。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹
介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部
が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい
話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿を
お待ちしております。採用の方には記念品を差し上げま
す。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田
文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-
3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jp
まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさ
せていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明
記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号
(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込
多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケット
は、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になりま
す。

大田文化の森Vol.42Web版

2012年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施
設・郵便局などにあります。

森の文化のおおた

巻頭特集

あなたの企画提案が実現します!

平成24年度の26公募企画の採用が決まりました。

読み応えのあるコラムが自慢

初夢!? 大田区物語を綴っていただきました

お正月、みなさんはどんな初夢をみられますか。大田区を舞台にしたストーリーを描くのも楽しいのではないのでしょうか。今回は大田区在住の西川文恵さんと高橋洋子さんに思いを綴っていただきました。

人気のNHK連続テレビ小説、今春は蒲田が舞台に!

わが町・蒲田が、今春4月2日スタートの朝のNHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」で舞台になりました。物語の構想の中で蒲田に白羽の矢が立ち、ヒロインに女医を選んだ訳をNHK岩谷可奈子チーフ・プロデューサー(CP)に伺ってみました。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

なでしこジャパン丸山桂里奈、母娘の絆

「母と喜びを分かち合えて、今でもとても感激しています」。サッカーの女子ワールドカップで世界一になった、なでしこジャパンのFW丸山桂里奈さんは言う。大田区大森西の実家で母・慶子さんと寛ぐお二人に、母娘の思いを聞かせていただいた。

今年の干支「辰」と「龍」に思う

文化プレーヤーによる今年の干支のコラムです。

人気のNHK連続テレビ小説、今春は蒲田が舞台に!

岩谷プロデューサーに聞く「梅ちゃん先生」の構想と蒲田との縁

わが町・蒲田が、今春4月2日スタートの朝のNHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」で舞台になりました。物語の構想の中で蒲田に白羽の矢が立ち、ヒロインに女医を選んだ訳をNHK岩谷可奈子チーフ・プロデューサー(CP)に伺ってみました。(運営委員 池田敏夫)



ヒロイン役の堀北真希(中央)と共演者たち

物語は昭和20年(1945)、終戦直後の焼け野原となった東京・蒲田から始まる。大学病院の医師を父に持つ3人姉兄の末っ子に生まれたヒロイン下村梅子(堀北真希)が、松子(ミムラ)と竹夫(小出恵介)という優秀な姉と兄を持ち、「しよせん私は松竹梅の梅よ」と自分に自信が持てないでいたが、ある事件をきっかけに一念発起して医師を目指し、やがて町医者として地域医療に身を投じていく。戦後復興、高度経済成長の時代を通じて、人情あふれる下町で懸命に生きる人々に寄り添いながら、ひたむきに奮闘していく梅子の半生。脚本・尾崎将也

岩谷CP

東日本大震災で自らも被災しながら被災地で医療活動に従事する医師や看護師の姿を見て、地域医療に焦点を当てたいと思ったのがきっかけ。蒲田を舞台にしたのは町工場が沢山あり、ごちゃごちゃ、にぎやかな下町のイメージが浮かんだからです。戦後復興という視点でも格好の場所、日本人のたくましさや絆の大切さを描くにも適していました。



池田

NHK岩谷可奈子
チーフ・プロデューサー

東邦大の前身(帝国女子医学専門学校)もあって、
実在のモデルがいるのではとの噂も立ちました。

岩谷CP

いません(笑い)。たしかに関係者にはいろいろ当たりましたが、それらしき
人物は結構いらっやいましたし、医師会でも女医さんは多いと聞いていま
す。

池田

実際に現地ロケや、リアルな描写などはあるのですか。

岩谷CP

蒲田でのロケは、終戦当時の街並みを撮影できる場所がないので難しいで
す。朝のドラマはあまりリアルになってはいけないうし、全国の視聴者の方々
に明るく楽しく“庶民の底力”を届けたいのが願いです。もう一度、戦後復興
の時代に立ち戻って、日本人の強さ、温かさを確かめて見たいものです。

池田

ヒロインの梅子役・堀北真希さんは16歳から30歳すぎぐらいまで演じるよう
ですが。

岩谷CP

涙あり笑いありの物語。彼女の細い体からは想像の出来ない芯の強さとたく
ましさ、どこか昭和のにおいのする女優さんで今回の梅子役にぴったりです
よ。応援をよろしく願いいたします。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤ
ー」の活動の案内です。今回は「森のこだま」です。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ち
しています。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹
介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部
が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい
話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿を
お待ちしております。採用の方には記念品を差し上げま
す。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田
文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-
3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jp
まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさ
せていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明
記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号
(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込
多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケット
は、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になりま
す。

大田文化の森Vol.42Web版
2012年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施
設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

地域ネットワーク

地域力推進 六郷地区委員会の“いま”

住み慣れたまちで、だれもが心地よく安心・安全に暮らし続けるには、それぞれが自分たちのまちづくりに積極的にかかわっていくことが重要です。

六郷地区では町会・自治会を中心とする地域団体と関係行政機関が連携・協働し、地域の課題を発見し解決する場として、地域力推進六郷地区委員会を毎月開催しています。

これまで、子ども見守り協議会活動（H18年度発足）や、独自の高齢者見守りの仕組み「地域見守りネット事業」

（H22年度本格稼働）など、多くの実績を積み重ねてきましたが、今年度は、「東日本大震災 地域の防災力 総点検」をテーマに、すべての委員が4つの分科会にそれぞれ所属し活発な意見交換を行っています。

私たちは、「行政には行政の役割があり、地域のことは地域で解決する」というスタンスから、“自助”の重要性を機会あるごとに周知してきましたが、これを一歩進め、住民同士や団体間の連携、さらには地域を越えて支えあう“共助”の強化を目指して取り組んでいます。道のりは平坦ではありませんが、私たち委員会の取組みが、六郷地区のみならず大田区の地域課題解決の一助となれば幸いです。



9月の地域力推進六郷地区委員会の様子

六郷地区自治会連合会 会長 中島寿美

よみがえる門前町・池上

池上は現在の住居表示になる前は、池上本町と池上徳持町に分かれていました。現在は両者を合わせ、池上1丁目から8丁目として成り立っていますが、いずれも古くから大本山池上本門寺の門前町として発展して来ました。町の歴史や現在については、町会の方々にお任せするとして、今回はこの池上を形成する一翼を担う商店街を紹介させて頂きます。



池上本門寺朝市の様子

池上の玄関口、池上駅の改札口は一つです。本門寺に参詣する信者を運ぶために開設された鉄道としては、当然本門寺方面に改札口があります。商店街は駅を後にして前方に10、後方に2、計12の商店街があります。店舗数にして約650の商店があり、物販やサービス業他、様々な業種が近隣住民のため日々奉仕しています。12の商店街が結束して成立したのが「池上地区商店会連合会」です。商店会連合会は、池上の町の発展と活性化のために、門前町としてふさわしいイベントを実

巻頭特集

あなたの企画提案が実現します!

平成24年度の26公募企画の採用が決まりました。

読み応えのあるコラムが自慢

初夢!? 大田区物語を綴っていただきました

お正月、みなさんはどんな初夢をみられますか。大田区を舞台にしたストーリーを描くのも楽しいのではないのでしょうか。今回は大田区在住の西川文恵さんと高橋洋子さんに思いを綴っていただきました。

人気のNHK連続テレビ小説、今春は蒲田が舞台に!

わが町・蒲田が、今春4月2日スタートの朝のNHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」で舞台になりました。物語の構想の中で蒲田に白羽の矢が立ち、ヒロインに女医を選んだ訳をNHK岩谷可奈子チーフ・プロデューサー（CP）に伺ってみました。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつとい話

みなさまの投稿、お待ちしております

読者の皆さまと編集部がつく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

なでしこジャパン丸山桂里奈、母娘の絆

「母と喜びを分かち合えて、今でもとても感激しています」。サッカーの女子ワールドカップで世界一になった、なでしこジャパンのFW丸山桂里奈さんは言う。大田区大森西の実家で母・慶子さんと寛ぐお二人に、母娘の思いを聞かせていただいた。

今年の干支 『辰』と『龍』に思う

文化プレーヤーによる今年の干支のコラムです。

施しています。

毎月第3日曜日に開催される“本門寺朝市”と、花まつりの一環として境内で行われる“春まつりマーケット”がその主たるものです。

“朝市”はすでに58回を数え、早朝より多数のお客様がご来店されます。食品から雑貨まで豊富な品揃えが人気です。“春まつり”では、地元で評判の商店が勢揃いして、満開の桜の下で多数のお客様と共に春の暖かさを満喫しています。

ぜひ、皆様も“門前町・池上”にご来場の上、ご堪能ください。

池上地区商店会連合会 会長 間宮一雄



「ご自由にお休みください」ベンチの話

ある家の四つ角に「ご自由にお休み下さい」と立て看板されている脇にベンチがある。

先日、ベンチを設置したその家のご夫婦にお話を伺うと今のベンチは2台目であり、ご夫婦の先代(母)が疲れて石段に腰をかけていた時、通りすがりの方が「自宅までお送りしましょうか?」と声をかけてくれた事に感謝し、その先代が亡くなられた直後に1台目のベンチを設置(昭和63年)したという。

1台目のベンチは、どうやら持ち去られたようで、戻ってはこなかったもので、全く同じ形のベンチを購入して設置したとのこと。そのベンチを見て、ご近所の人たちの中には持っていかれたベンチが戻されると勘違いした人もいたようだった。

また、このご夫婦は、ある老夫婦の会話を耳にした時、ベンチがお役に立っているのだと思いき胸が一杯になったと言う。

それは・・・杖をつく上品な老人が「あのベンチはまだかなあ～?」と、「もうすぐですよ。頑張って歩きましょうね」と答える奥様との光景でした。

田園調布本町 熊谷 咲(54)

このコーナーは読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちよつといい話」(300字以内)の投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合はinfo@ota-bunkanomori.jpまで。誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)年齢、所在地とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今回は「森のこだま」です。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちよつといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.42Web版

2012年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

森の文化のおおた

なでしこジャパン丸山桂里奈、 母娘の絆

優勝以来、世間の脚光を浴び続ける桂里奈さんに慶子さんの心配は消えない。「この子は神経が細やかで、思いやりのある子。団体生活の中で成長してきたと思うのですが、プレッシャーはどうなんでしょうかね」。元モデルだった慶子さんにしてみればバレリーナにでもという思いもあったようだが、幼稚園のころはテニス、小学校に入ると男児に交じってサッカーを始め、後に東京ガスサッカースクールに所属して中学時代には読売メニーナ(読売ベレーザの下部チーム)に入団。「みんなで勝利を分かち合

う喜びを知り、サッカーに惹かれていきました。男子に混じっても苦労した事はなく、やっていたから素早いサッカーに身体が慣れたと思います」と桂里奈さん。

高校はメニーナの関係者が進めるエリートコースを選ばず、現・村田女子高校に進学。3年の時には全国3位になって頭角を現し、日本体育大での活躍が女子日本代表へと繋がった。「高校生のころ、大田区山王にある急坂を連日のように百回ダッシュしているトレーニング姿を見て、この子のガンバリ精神を見直した」と慶子さん。娘にとっては「ずっと両親が支えてくれたから」と感謝の気持ちを持っていたが、「何事にもチャレンジし、最後まで諦めないというのが私の信条。とても嬉しかったです」と今でも忘れられない思い出だという。

世界一への難敵、準々決勝の地元ドイツ戦で決めた彼女のゴールはまさに決勝点となった印象的シーン。「今は怪我をしているのでしっかりリハビリをして治し、今年ロンドン五輪に出場するのが最大の目標。プライベートですか？ 明るく笑いの絶えない家庭を築きたいのですが、結婚するにはまず相手探しからです(笑い)」。

そんな娘に慶子さんは「早く孫の顔を見せてよ」と目を細めていた。



丸山桂里奈さん
©丸山桂里奈オフィシャルブログ
「マルカリトレ」より

丸山慶子さん
撮影/宇佐美 智史

今年の干支 『辰』と『龍』に思う

巻頭特集

**あなたの企画提案が
実現します!**

平成24年度の26公募企画の採用が決まりました。

読み応えのあるコラムが自慢

初夢!? 大田区物語を
綴っていただきました

お正月、みなさんはどんな初夢をみられますか。大田区を舞台にしたストーリーを描くのも楽しいのではないのでしょうか。今回は大田区在住の西川文恵さんと高橋洋子さんに思いを綴っていただきました。

人気のNHK連続テレビ小説、
今春は蒲田が舞台に!

わが町・蒲田が、今春4月2日スタートの朝のNHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」で舞台になりました。物語の構想の中で蒲田に白羽の矢が立ち、ヒロインに女医を選んだ訳をNHK岩谷可奈子チーフ・プロデューサー(CP)に伺ってみました。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー
ちよつとい話

みなさまの投稿、お待ちしております

読者の皆さまと編集部がつく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

なでしこジャパン丸山桂里奈、
母娘の絆

「母と喜びを分かち合えて、今でもとても感激しています」。サッカーの女子ワールドカップで世界一になった、なでしこジャパンのFW丸山桂里奈さんは言う。大田区大森西の実家で母・慶子さんと寛ぐお二人に、母娘の思いを聞かせていただいた。

今年の干支
『辰』と『龍』に思う

文化プレーヤーによる今年の干支のコラムです。

巨匠川端龍子は大田区新井宿に住み、よく龍像を画いた。戦さが終わった年、戦火に荒廃した災禍を悼んで失意から悔恨と慙愧を拭い去るように、甦り天に昇る機を窺い靈妙の力を秘めてうづくまる雌伏の姿「臥龍」の筆をとった。さらに龍子は池上の祖師堂の伽藍を飾る「水龍」の図を画いた。渦巻く奔流の飛沫を浴び天空に舞い上がるこの「龍」が彼の絶筆となった。未完の画龍の点睛は奥村土牛の筆になったという。伽藍の天蓋に眼をやると、畏敬に満ち衆生をへいげいするよ



うな「龍像」が彫り刻まれている。私たちを護り靈験をもたらすように「龍」は身近に在る。

めぐりくる今年「辰」を迎える。中国古代の遺跡から発掘された紀元前十五世紀頃の甲骨片に「辰」と「龍」の名が彫り遺されている。古代の人々は日・月・星を仰ぎ、予兆を識って運勢を占い、処世し己れを律して、また望みをかけた。

古人が崇めた木星が天を十二年かけ一巡する事からそれぞれの歳次に「辰」を五位におき、子から亥までの十二支の古字をあて呼称した。起源に諸説もあるが、後の世に十干と結び暦法にも用いられ、また「辰」は年月日・時・方位また星などを示すようにもなった。後に暦をあまねく周知するため、判り難い十二支の古字に動物像の呼称をつけ「辰」に「龍」をあてた。その十二獣の中で「龍」のみが想像上の神秘的な動物であることから、神話や伝説を生む因ともなった。我が国にも伝来して多くの俗話や迷信なども語られるようにもなった。何故か「辰」と「龍」の意のいわれ因縁は定かでない。くる年「龍」の靈験にあやかって瑞兆(良い事が起こる前兆)がおとずれるように願いたい。

神 甲太郎 / 文化プレイヤー



歌って笑顔、元気な「森のこだま」

皆さん、お元気ですか。寒暖の差、厳しい昨今です。お身体大切になさって下さい。

この原稿依頼が、私のところに来た時、まず頭に浮かんだのは、毎月第4水曜日に行われている「森のこだま」の皆さんとの事です。知人から声が掛かり、お手伝いをさせて戴いてから11年目を迎えました。スタート時は、合唱したいと参加される人たちがスタジオに入りきれず、大部屋の多目的室に移り、今は毎回200名を超えて入りきれない時はどうしようと思うくらい盛況で、私には大切な仲間です。

明るい笑顔で歌ってます。元気です。一緒にやっているプレイヤーの仲間にも支えられています。スタートから11年経ってますが、参加される皆さんと一緒に歌って盛り上がることで元気が出る【歌の力】は今も昔も変わっていないような感じです。文化の森運営協議会発足と同じ歴史をたどる「森のこだま」。昨年11月13日に開催された、文化の森収穫祭の舞台にも立たせていただきました。東日本大震災で亡くなられた方がお星様になったのか、星の数が増えたようです。「見上げてごらん 夜の星を」と心を込めて、歌声が届くよう祈っていました。



文化プレイヤー 篠崎 奈那子



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレイヤー」の活動の案内です。今回は「森のこだま」です。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報
文化の森 例でもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.42Web版

2012年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



おおた文化の森

文化の森 イベント情報 何でもあり

楽しいイベントが一杯!

■大田文化の森 歌声喫茶Ⅱ

昭和30年代の青春時代を思い出しながら、懐かしい歌を皆さんと一緒に歌いましょう。

□開催日時:2月29日(水)13:30~16:30 □会場:5F多目的室 □対象:18歳以上 □参加費:300円 □定員:抽選で150名 □申込:2月15日(水)必着

■クラシック音楽の世界を楽しむ

ドイツで研鑽を積んだ音楽家ピアニスト瀬川玄さんによる分かりやすく面白いクラシック音楽の演奏とトークです。

□開催日時:3月17日(土)15:00~17:00 □会場:文化の森ホール □対象:小学生以上
□参加費:中学生まで500円 高校生以上1000円 □定員:1月16日(月)より文化の森 1月17日(火)よりアプリコ・区民プラザにてチケット販売 往復はがきでの申込も受け付けます
□申込:はがき申込の場合は3月2日(金)必着

■文化の森・素人寄席

幼児から中高年の落語愛好者が落語を披露!笑顔の絶えないステキな一日を。

□開催日時:3月23日(金)13:30~16:00 □会場:文化の森ホール □対象:どなたでも(未就学児の同伴可) □参加費:無料 □定員:抽選で250名 □申込:3月13日(火)必着

■大田区の歴史と文化交流・講演会

勉強の楽しさと、郷土の歴史を伝える講演会です。加えて地域の人々の交流を深め、安全と安心の住みよいまちの実現を目指します。

□開催日時:4月8日、6月10日(各日)13:00~16:00 □会場:5F多目的室 □対象:高校生以上 □参加費:500円 □定員:抽選で120名 □申込:3月28日(水)必着

■この音!な・あ・に?

障がい児と保護者、なかなかコンサートに参加できない方へ、音と心と体で感じて頂き、日常とは違う空間を提供します。

□開催日時:5月13日(日)13:30~15:00 □会場:5F多目的室 □対象:障害児者とその保護者を中心にとなたでも(未就学児の同伴可) □参加費:700円 □定員:抽選で130 申込:4月25日(水)必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

体験してみよう!

■バレンタイン!親子でデコケーキに愛こめて

粘土でつくったマカロンやプリン・クッキー、フルーツを箱の上に生クリームで盛り付けてプレゼントしましょう。

開催日時:2月12日(日)13:00~16:00

巻頭特集

あなたの企画提案が実現します!

平成24年度の26公募企画の採用が決まりました。

読み応えのあるコラムが自慢

初夢!? 大田区物語を綴っていただきました

お正月、みなさんはどんな初夢をみられますか。大田区を舞台にしたストーリーを描くのも楽しいのではないのでしょうか。今回は大田区在住の西川文恵さんと高橋洋子さんに思いを綴っていただきました。

人気のNHK連続テレビ小説、今春は蒲田が舞台に!

わが町・蒲田が、今春4月2日スタートの朝のNHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」で舞台になりました。物語の構想の中で蒲田に白羽の矢が立ち、ヒロインに女医を選んだ訳をNHK岩谷可奈子チーフ・プロデューサー(CP)に伺ってみました。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつとい話

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつとい話をお聞かせ下さい。

なでしこジャパン丸山桂里奈、母娘の絆

「母と喜びを分かち合えて、今でもとても感激しています」。サッカーの女子ワールドカップで世界一になった、なでしこジャパンのFW丸山桂里奈さんは言う。大田区大森西の実家で母・慶子さんと寛ぐお二人に、母娘の思いを聞かせていただいた。

今年の干支 『辰』と『龍』に思う

文化プレーヤーによる今年の干支のコラムです。

□会場:3F工芸室 □対象:5歳以上の親子 □参加費:1組1500円 □定員:抽選で15組

□申込:2月1日(水)必着

■文化の森の座談会

万葉博士の針原孝之先生を講師に迎え、万葉歌の謎や相聞歌など短歌の世界を楽しみましょう。

□開催日時:2月24日(金)18:00~20:00 □会場:4F第4集会室 □対象:中学生以上 □参加費:1000円 □定員:抽選で30名 □申込:2月10日(金)必着

■食のアート! いろいろどり『タイ料理』

いろいろどりの食材を使って、タイ料理を楽しみましょう!

□開催日時:3月4日(日)10:00~14:00 □会場:3F調理室 □対象:小学校3年生以上 □参加費:小学3年生以上500円、中学生以上1000円 □定員:抽選で30名 □申込:2月23日(木)必着

■自分の部屋に合うミニ掛軸の制作とアート書

掛軸を身近なものとして制作してみましょう!そこに自分で書いた墨文字のアート書を飾り素敵なインテリアに。

□開催日時:3月31日、4月7日(各土)13:00~16:00 □会場:3F工芸室 □対象:中学生以上 □参加費:1500円(全2回分) □定員:抽選で20名 □申込:3月19日(月)必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 4階大田文化の森運営協議会

電話:03-3772-0770 / FAX:03-3772-0704

ホームページ:<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■往復はがきに「講座名」・氏名・年齢(学年)・住所・電話番号・「情報誌」を明記(はがき1枚に1講座、原則1名/組まで)。

■保育対象は満6ヶ月以上の未就学児。希望者は企画申込時に上記に加え「保育希望」・対象児の氏名・月齢も明記。1人1回500円。

■特記のない場合は未就学児の同伴はご遠慮ください。

■事前販売のチケットは全自由席、原則大田文化の森1階総合受付で販売。

募集してまへす!

文化プレーヤー(ボランティア)募集

大田文化の森運営協議会では日ごろ多彩な催しを行っていますが、その実施にあたって企画・立案、サポート、さらに講師・出演者としての登録や写真・ビデオ撮影など文化活動を支える良き仲間を募っています。この文化プレーヤー(ボランティア)のプレーヤーという言葉には「楽しむ、表現する、演じる」という意味が込められていますが、ご希望される方は文化の森4階運営協議会事務局までお問い合わせください。

■受付時間:月~金曜 9:00~18:00

■電話:03-3772-0770 FAX:03-3772-0704

■住所:〒143-0024 大田区中央2-10-1



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレーヤー」の活動の案内です。今回は「森のこだま」です。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.42Web版

2012年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ? 何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区10ヵ年基本計画『おおた未来プラン10年』では「区民の自主的な文化活動の拠点として、区民が集い、参加し、交流することを目的として旧大田区役所跡地に建設された施設」と書かれています。

大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、より利用しやすく、親しみのもてる施設を目指しています

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、①任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、②区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、③「運営協議会の自主企画」の3種類があります。

施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

●企画の実施

- 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する
- 2.「公募による事業」に応募する
- 3.運営協議会が行う自主事業に参画する

●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。

●貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。

営業時間 10:00~17:00

定休日 隔週月曜・全館休館日

巻頭特集

あなたの企画提案が実現します!

平成24年度の26公募企画の採用が決まりました。

読み応えのあるコラムが自慢

初夢!? 大田区物語を綴っていただきました

お正月、みなさんはどんな初夢をみられますか。大田区を舞台にしたストーリーを描くのも楽しいのではないのでしょうか。今回は大田区在住の西川文恵さんと高橋洋子さんに思いを綴っていただきました。

人気のNHK連続テレビ小説、今春は蒲田が舞台に!

わが町・蒲田が、今春4月2日スタートの朝のNHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」で舞台になりました。物語の構想の中で蒲田に白羽の矢が立ち、ヒロインに女医を選んだ訳をNHK岩谷可奈子チーフ・プロデューサー(CP)に伺ってみました。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつといい話

読者の皆さまと編集部がつく企画。暮らしの中のちよつといい話をお聞かせ下さい。

なでしこジャパン丸山桂里奈、母娘の絆

「母と喜びを分かち合えて、今でもとても感激しています」。サッカーの女子ワールドカップで世界一になった、なでしこジャパンのFW丸山桂里奈さんは言う。大田区大森西の実家で母・慶子さんと寛ぐお二人に、母娘の思いを聞かせていただいた。

今年の干支「辰」と「龍」に思う

文化プレーヤーによる今年の干支のコラムです。

大田区役所 大田文化の森運営...

日本, 〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

保存

[拡大地図を表示](#)



[Googleマップで大きな地図を見る](#)



404. That's an error.

The requested URL /maps/sv was not found on this server. That's all

[Googleマップで大きな地図を見る](#)

バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

■東急池上線池上駅より

東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車

■JR大森駅(西口)より

東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車

■JR蒲田駅(西口)

東急バス大井町駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局

〒143-0024 大田区中央2-10-1

電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704



文化の森で活躍での文化ボランティア「文化プレイヤー」の活動の案内です。今回は「森のこだま」です。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.42Web版

2012年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



おおた文化の森

編集後記

◆この1年間を振り返ってみて、東日本大震災や福島第一原発事故がいかに日本にとって大きな衝撃と傷痕を残したことが。「2011ユーキャン新語・流行語大賞」の候補60語のうち、実に半分以上の33語がそれに関連する言葉ということからも察しがつきますが、こんなことは27年の大賞史上でもなかったといいます。本誌でもイベント自粛や関連記事を掲載せざるを得ないことがありましたが、新しい年を迎えるにあたって明るいニュースが話題になることを祈って、7頁なでしこジャパン丸山選手のロンドン五輪行きなども期待したいものです。

◆世界人口が70億人に達して、日本でも1日約3千人の赤ちゃんが誕生しているといえます。いまから50年前は30億人を少し超えた水準だったようですから、わずか半世紀で2倍以上の増加。ならば2050年になるとどうなるのでしょうか。国連予測ですと93億人前後、いま世界で9億人とされる「60歳以上の人口」も24億人前後に及ぶとか。ま、大きな話はともかく、東京一の人口を誇る大田区がどうなるか、身近なことが気になります。

◆NHK人気の朝ドラで今春、蒲田が初めて舞台になると聞いてプロデューサーにインタビュー(3頁)しましたが、蒲田といえば松竹蒲田撮影所が昔あって、そこ出身で「煙突の見える場所」や「伊豆の踊り子」などを撮った代表的映画監督・五所平之助氏の晩年にお会いしたことを思い出しました。1981年、享年79歳でしたが、温厚な語り口でいくつかの名言を吐いた人でも知られます。「生きることは、一筋がよし、寒椿」「夢は逃げない、逃げるのはいつも自分」など。背筋をのばした生き方がいまでも印象に残りますが、私は聞くだけに終わって反省しきり。新年、少しは・・・いや無理ですねえ。

運営委員(編集長) 池田 敏夫

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

巻頭特集

あなたの企画提案が実現します!

平成24年度の26公募企画の採用が決まりました。

読み応えのあるコラムが自慢

初夢!? 大田区物語を綴っていただきました

お正月、みなさんはどんな初夢をみられますか。大田区を舞台にしたストーリーを描くのも楽しいのではないのでしょうか。今回は大田区在住の西川文恵さんと高橋洋子さんに思いを綴っていただきました。

人気のNHK連続テレビ小説、今春は蒲田が舞台に!

わが町・蒲田が、今春4月2日スタートの朝のNHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」で舞台になりました。物語の構想の中で蒲田に白羽の矢が立ち、ヒロインに女医を選んだ訳をNHK岩谷可奈子チーフ・プロデューサー(CP)に伺ってみました。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

投稿コーナー ちよつといい話

読者の皆さまと編集部がつくく企画。暮らしの中のちよつといい話をお聞かせ下さい。

なでしこジャパン丸山桂里奈、母娘の絆

「母と喜びを分かち合えて、今でもとても感激しています」。サッカーの女子ワールドカップで世界一になった、なでしこジャパンのFW丸山桂里奈さんは言う。大田区大森西の実家で母・慶子さんと寛ぐお二人に、母娘の思いを聞かせていただいた。

今年の干支『辰』と『龍』に思う

文化プレーヤーによる今年の干支のコラムです。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 例でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿お待ちしております。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.42Web版

2012年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:info@ota-bunkanomori.jp

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

